

10-3 尿路結石症〔にょうろけっせきしょう〕

尿路感染症〔にょうろかんせんしょう〕

- ◇尿路結石症—腎臓、尿管、膀胱、尿道のどこにでも起こり得るもので、中年男性に多い。結石は尿路の通過障害を起こし、腎機能の低下や尿路感染症の原因になることもある。
- ◇尿路感染症—発生部位によって腎盂炎、膀胱炎、尿道炎と呼ぶ。膀胱炎は高齢女性と膀胱留置カテーテルを使用している場合に多発する。原因となる細菌の多くは大腸菌。

主な症状	<p>尿路結石症</p> <ul style="list-style-type: none"> 尿管結石では刺し込むような激しい痛みがある。持続的なこともあれば、間欠的なこともある。 結石の場所により腰痛、側腹部痛、下腹部痛と痛みの場所が変わる。 痛みがなく血尿だけで結石が発見されることもある。 <p>尿路感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> 腎盂炎は、発熱や腰痛がある。 膀胱炎は、頻尿、残尿感、排尿時痛があり、通常発熱はない。 尿道炎は、強い排尿時痛がある。
生活上の留意点	<p>尿路結石症</p> <ul style="list-style-type: none"> 下腹部、腰の急な痛みや血尿が見られた時には、早めに受診する。 水分を多めに取り、尿が濃くならないようにする。また、結石が流れて排泄されるようにする。 バランスのとれた食事をとり、身体を適度に動かすことで排泄をスムーズにする。 <p>尿路感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> 水分は充分摂取する必要があるが、前立腺肥大においては一度に多量の摂取は控える。 身体を冷やさない、排尿を我慢しない。
ケアマネジメントのポイント	<p>尿路結石症</p> <ul style="list-style-type: none"> 腎結石、尿路結石、膀胱結石など結石の位置によりますが、どの症状においても水分を多くとることが重要。ただし、水分制限等がある方においては配慮が必要。 肉類や塩分、ビタミンの取りすぎやカルシウム不足など食生活の管理と適度な運動も計画に位置づける必要がある。 <p>尿路感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> 留置カテーテルを使用している場合は、正しい方法で処理を行なう。 尿回数、痛み、尿の性状を観察する。
代表的な薬	<p>尿路結石症</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 尿路結石治療薬（ウロカルンなど） <p>尿路感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 抗菌薬（クラビット、バクシダールなど）